

## \*新しい挑戦\*

### 「えひめ女性議員ネットワーク」(任意団体)の設立

県下の女性議員は、県議会と20市町で57名(R6.10月現在)、女性の議会に占める割合は平均20%弱で、ゼロ議会も2つあります。

国の定める努力目標の30%に女性議員を増やす大きな課題に向け、現役女性議員とOG議員で協力し合い超党派の会を結成し、これから議員を目指す女性たちを支援していく活動を続けていくことになりました。

多くの女性が政治参画できる社会づくりのために、この会の共同代表の一人としてしっかり汗を流していきます。

去る9月7日には、創立総会の記念イベントとして「ジェンダー平等をめぐる世界の潮流」という題目で林陽子氏(市川房江記念会女性と政治センター理事長)による記念講演を開催しました。

会場のコミセン大会議室は満杯で椅子をさらに増やすほどの盛況ぶりでした。会の結成に向けては春ごろから徐々に増えた有志の女性議員さんたちと何度もズーム会議などを重ね試行錯誤を繰り返しながら本番を迎えての成功でした。

これからの活動をどのように展開し、今後の結果に繋げていくか、今はその責任の重さを感じていますが、新しい挑戦として前進あるのみかと思っています。



汗をかいてくれた県内の女性議員さんたち



### 編集後記

今年の夏はこれまでに無く暑い日が続きました。体調を崩された方も多かったのではと思います。前回のレポートから時間が経ちましたが、やっと発行にこぎ着けました。

最近では新政権となり、いろいろ話題もあります。当然、国を任された方には日本を良くしてもらわなければなりません。わが町においても、みどり議員もまた新たな挑戦に臨んでいます。皆さん、ご支援のほど宜しくお願いします。(K.I)



### メールアドレス

[fujioka.midori@gmail.com](mailto:fujioka.midori@gmail.com)

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。

## 催事アルバム



地域資源ごみ回収 9/29



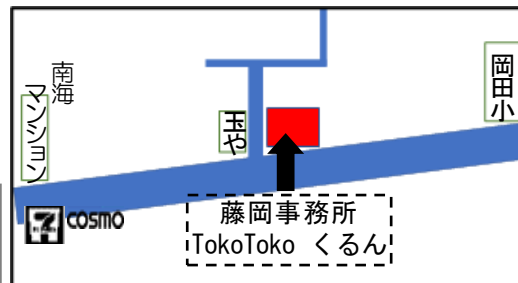
宇和島防災フェア(トイレカー) 9/22



液状化現象を分かりやすく実験で(防災教室) 8/24



子ども議会リハーサル 8/1



(月・水・金) AM9:00~PM5:00  
(火・木) AM9:00~正午まで



# 藤岡みどりの



# ワクワク

## レポート

第29号

2024.10.25 発行

発行：藤岡みどりを推薦する会  
代表 大西多美子・松前町議会議員 藤岡緑  
〒791-3132 愛媛県伊予郡松前町西高柳246-7  
☎ 089-989-3132 FAX 089-989-3131  
ホームページ <http://www.fujioka-midori.jp>



### 『新政権誕生で、私たちの暮らしは変わる?』

★9月後半から与党自民党、公明党の党首が新しくなり、野党第1党の立憲民主党の党首も代わり、いよいよ衆議院解散総選挙という事態になりました。新政権の実質発動は、そのあとということになります。総裁選で言われていた内容は、がらりと変わり石破カラーはどこへ… 裏金問題や防衛問題、金融政策もトーンダウン。ましてや組閣の顔ぶれを見ると、女性活躍や若者の力推進の提唱は、期待できるのでしょうか。

★一方、世界の不安材料は、中東を中心に膨らみ、11月のアメリカ大統領選の行方によってはウクライナ情勢も厳しくなり、我が国の周辺においても台湾有事の恐れ、北朝鮮情勢、拉致問題早期解決の糸口は…と、難題が山積みです。

★一般の国民目線で暮らし向きを考えたとき、物価はなるべく抑えてもらって給料や賃金の上昇を願い、少しでも安心して生活できる社会を望むところです。日本丸の船出は、相当厳しいようで、今回の衆議院選挙結果が私たちの暮らしを良くするか悪くするか、近いうちに明らかになるでしょう。

★私は地方議員として、長く地方創生を掲げておられた石破氏の思いを、しっかりと施策に打ち出して頂けたらと、この部分においてはかなり期待をしております。



### ～ 事務所の中庭がお色直し ～

TOKOTOKO くるんの愛称で親しまれている藤岡みどり事務所も新設して丸3年経って、中庭の維持管理が大変になってきました。

特に土の部分からの雑草の勢いはこちらの想像をはるかに超えて、草ぼうぼう状態になってしまうため思い切って人工芝と石組みで管理しやすく、また1本背の高い白樺の木を植え、憩える場所としました。

秋のひと時を楽しみにどうぞお越しください。





～みどりの一般質問より～

ここが  
聞きたい!

Q & A



3月

Q. 災害時のトイレ問題にどんな対策を(能登半島地震を経て)

A. 災害時のトイレ不足は、不衛生な環境から感染症や心理的負担により災害関連死につながる危険性がある。本町としても備蓄しているトイレ関係用品は、簡易式トイレ(ラップボン)38基、関連消耗品約5万回分、災害用携帯トイレ約3万2千回分、マンホールトイレ20基を整備している。災害時のトイレは、避難所に3日分を目途として備蓄している。



自宅避難者には、各自で携帯トイレを回数かける7日分の備蓄を呼びかけている。

☹️ 災害時のトイレの大切さ、もっと住民にアピールを

Q. 住宅の耐震診断や耐震工事の件数、金額は

A. 本町は県内他市町に先駆けて、昨年度までに住宅の耐震診断を360戸無料でやっている。更に耐震工事を促進するため耐震設計や工事管理の費用を無料とし149戸の耐震工事補助を行っている。また南海トラフ巨大地震の備えとしてこの補助制度の拡充として、耐震工事費の8割、上限100万円を来年度からは110万円にする。併せて瓦屋根の軽量化のための改修工事も補助していく。



☹️ 減災対策として、これからも強く広報を

Q. 主権者教育の進め方は

A. 公職選挙法の改正により、選挙権年齢が満18歳になり、子どもたちにとって政治や社会が一層身近なものになってきた。そのため主権者としての力を育成する主権者教育の充実が求められる社会になってきている。本町は教育課程の中で社会科、家庭科、道徳、特別活動や総合的な学習を通して、それらの内容を関連付けながら主権者教育を実施している。これからも国や社会の問題を自分の問題としてとらえ判断していく力を養う教育を進めていく。

☹️ 若者の政治離れは、私たちの責任

6月

Q. 水道事業における耐震化の取組は

A. 老朽化の進む水道施設は、現在整備中の(仮称)松前町浄水場が完成すると基幹施設である町内3か所全ての浄水施設と配水池の耐震化が完了する。

町内の約193kmの水道管のうち約45kmが基幹管路であり、その耐震適合率は約36%。今後も国の補助事業制度を活用しながら計画的に進めていく。



☹️ 財源には、10年ぶりの水道代値上げも視野に・・・

9月

Q. 町民の防災意識のために松前独自の「防災の日」設置を



A. 今回の8月の巨大地震注意情報を通じて改めて町民の防災意識は強まったが、時間の経過とともに薄れる傾向にある。年に1度の9月1日の防災の日だけでなく半年後の3月に、防災用品点検の日や芸予地震のあった3月24日なども考慮して松前町独自の防災意識啓発の日を設定したい。

😊 私の提案にご同意頂いたので、早目の具体的日時の決定を

Q. 町の女性管理職登用の現状は

A. 第5次男女共同参画基本計画の中で、政策・方針決定過程への女性の参画拡大、可能な限り早期の指導的地位に占める割合を30%程度となるような取組を進めている。本町も国や県の動向に合わせ、全職員236人中女性は50%在職し、2025年の国の成果目標項目に設定している各役職段階に占める女性の割合は課長職以外は、上回っている。また女性職員を積極的に管理職に登用するために、仕事を続けて行ける環境整備、離職防止の支援制度を充実させ、引き続き性別に関わりない管理職登用に努めていく。

😊 今後2～3年の女性管理職登用の動向に期待したい



～松前町子ども議会を計画し、実践を！！～

松前町の小・中学校の子どもたちの夏休み中に、私たち議員が下記のようなスケジュールを組んで、議会の一般質問を実際に経験してもらった。

行政側からも町長はじめ部課長の皆さんにひな壇に座ってもらい本会議の実戦さながらの1日子ども議会を開催した。

私たち議員も子ども議員たちと協力し合って、子どもたちが町へ聞きたい事・要望などの原稿を一般質問の形式にまとめ、内容も深め、保護者の協力もいただきながら、リハーサルから本番まで作業部会を中心にそれぞれ担当した。



【スケジュール】

・7月上旬

各校区小学5・6年生、中学1・2年生対象に子ども議員募集全体で10名ぐらいでお願いする

・7月19日までに メンバー決定、会場準備

・7月22日 子ども議員と私たち議員の自己紹介や、議会活動の説明、議場見学、今後の予定説明

・7月29日 29日希望者のみの内容確認

・8月1日 一般質問原稿作成、担当議員と個別に仕上げるリハーサル

・8月7日 議場での練習(希望者のみ)

・8月9日 本番(10人の子ども議員たちから町への希望、疑問に思っている事、自分のアイデアなど、大人の目線とは違う発想で一般質問)

毎回午前中のみではあったが、子ども議員たちと一緒に原点に戻って一般質問の原稿を通告書にして理事者側に提出し、本番では丁寧な答弁を頂き、充実した子ども議会になったように思える。

★今後も更に充実した子ども議会が開催できるよう、事後のアンケートなども参考に続けていきたいと思う。

